



2013年3月期 第2四半期決算説明会

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

2012年11月8日

DACは、2012年10月より、これから10年先の未来を見据え、CIを一新しました。
デジタルの力を信じ、さらに活力を与えることで、社会に貢献してまいります。



ブランドスローガン

Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。

- 決算概要（連結・単体）
- 事業の動向
- 重点施策とトピックス
- 事例紹介

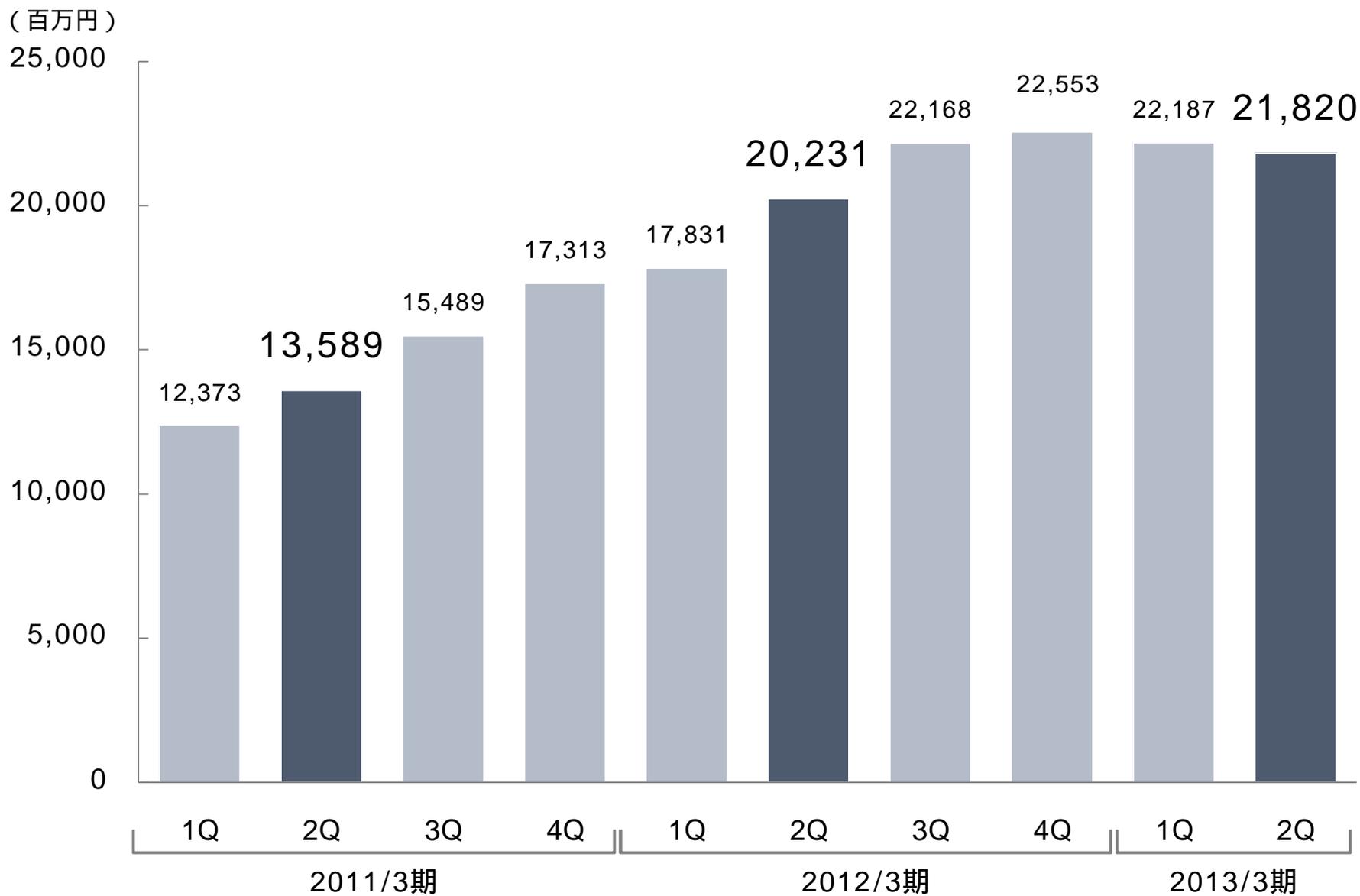
連結決算概要

(百万円)

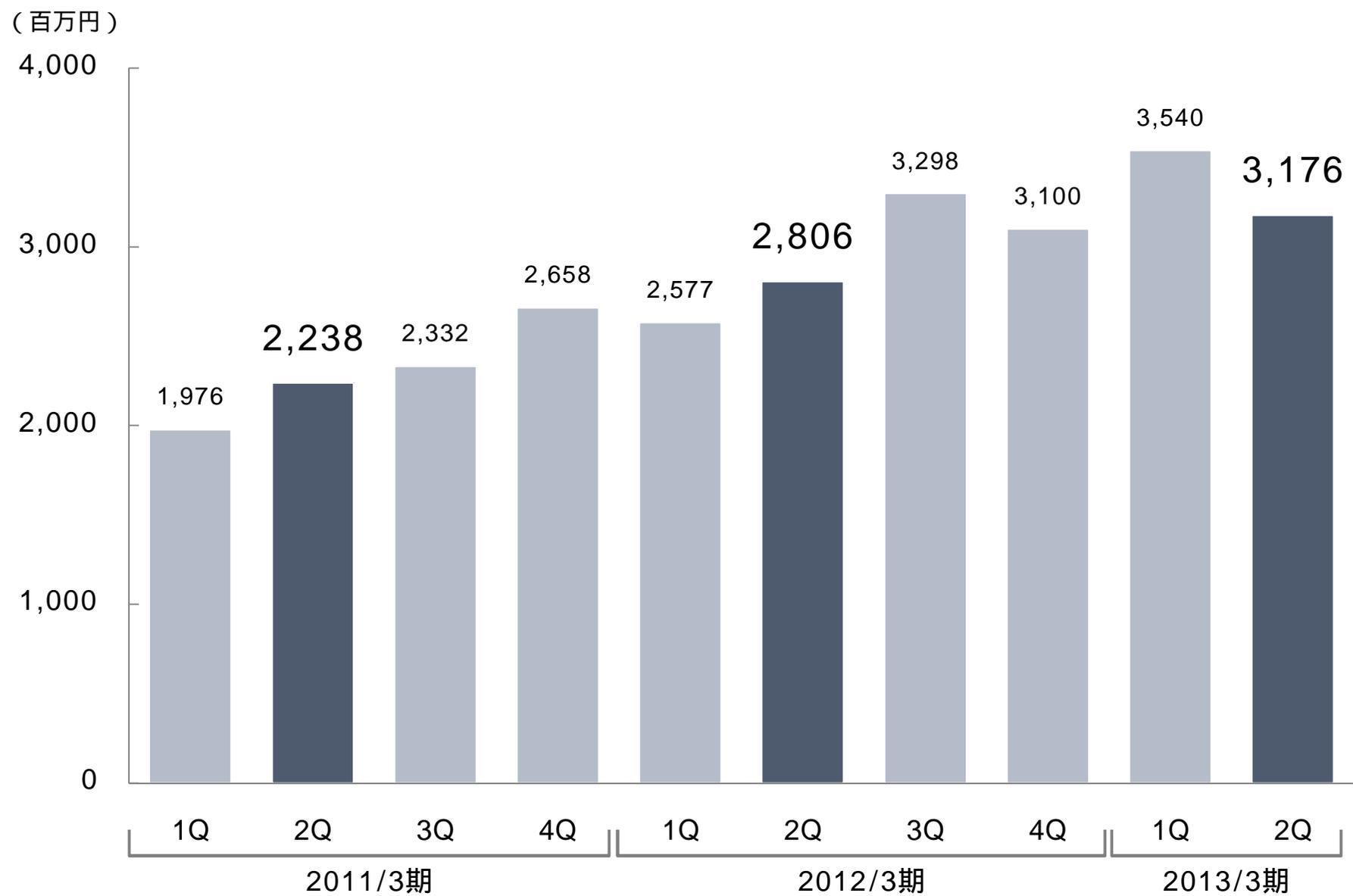
	FY2012 (2013年3月期)			
	2Q (四半期)		2Q (累計)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	21,820	107.9%	44,008	115.6%
売上総利益	3,176	113.2%	6,716	124.7%
営業利益	209	40.4%	798	95.1%
当期(四半期) 純利益	76	38.3%	268	88.2%
EBITDA	424	63.2%	1,224	108.7%
OM率()	6.6%	-11.9pt	11.9%	-3.7pt

() オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

四半期売上高の推移(連結)



四半期売上総利益の推移(連結)



事業領域別の状況(連結)

売上高	2012年3月期2Q (2011/4~9)		2013年3月期2Q (2012/4~9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	38,173	100.0	44,007	99.1	115.3
エージェント・ソリューション	34,610	90.7	39,426	88.8	113.9
メディア・ソリューション()	4,028	10.6	4,995	11.2	124.0
ソリューション間消去	-464	-1.2	-413	-0.9	-
インベストメント事業	-	-	415	0.9	-
合計	38,173	100.0	44,422	100.0	116.4

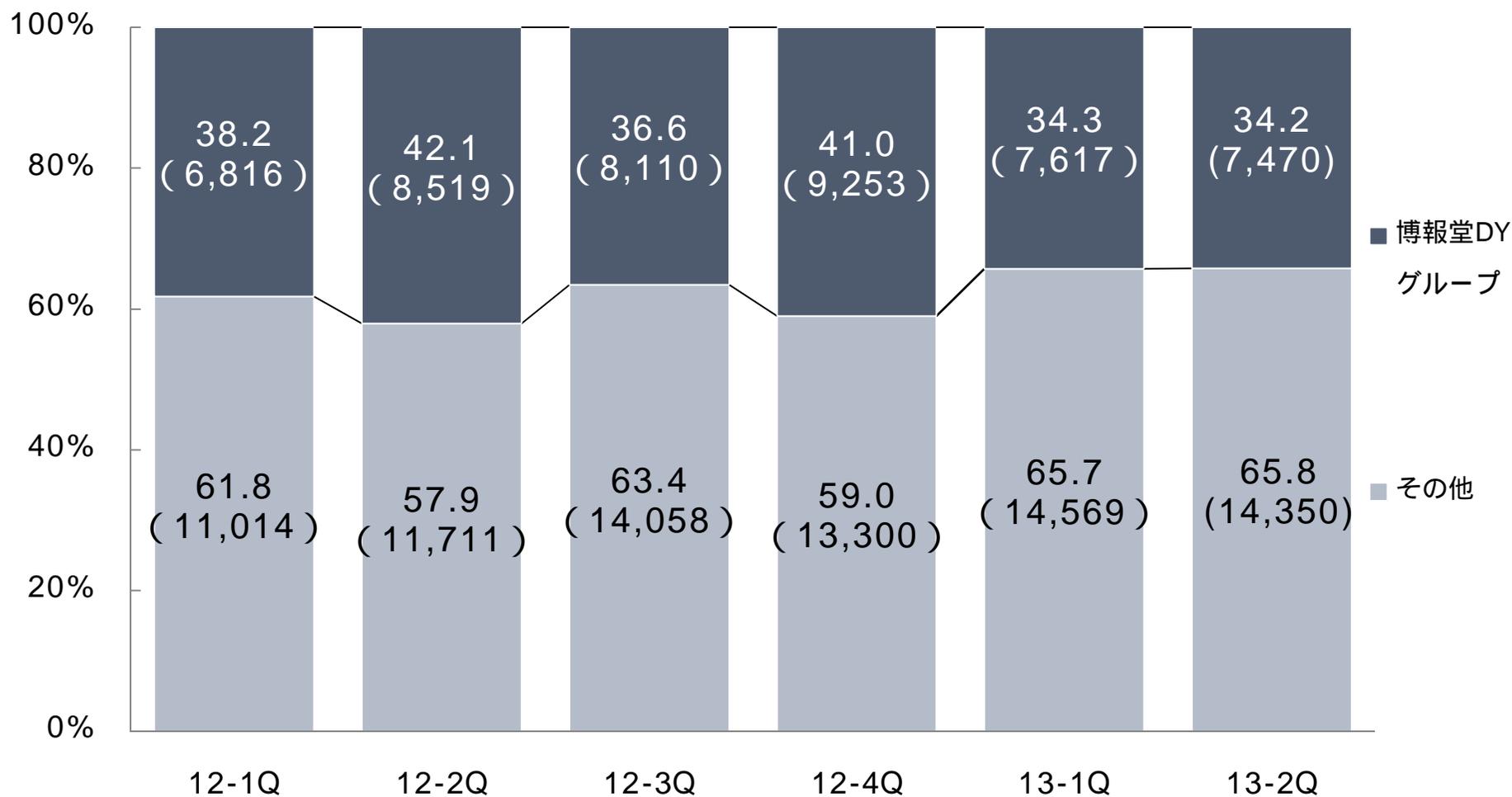
売上総利益	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
	インターネット関連事業	5,384	100.0	6,663	95.9
エージェント・ソリューション	3,362	62.5	4,234	60.9	125.9
メディア・ソリューション()	2,113	39.3	2,427	34.9	114.8
ソリューション間消去	-91	-1.7	1	0.0	-
インベストメント事業	-	-	288	4.1	-
合計	5,384	100.0	6,951	100.0	129.1

*メディア・ソリューションに含まれるメディア売上高については、エージェント・ソリューションとの比較のために売上高をグロス数値に換算しております。従って、会計上の数値とは異なっております。

	2012年3月期2Q (累計) (2011/4~9)		2013年3月期2Q (累計) (2012/4~9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
博報堂 D Y グループ	15,336	40.3	15,088	34.3	98.4
その他	22,725	59.7	28,920	65.7	127.3
合計	38,062	100.0	44,008	100.0	115.6

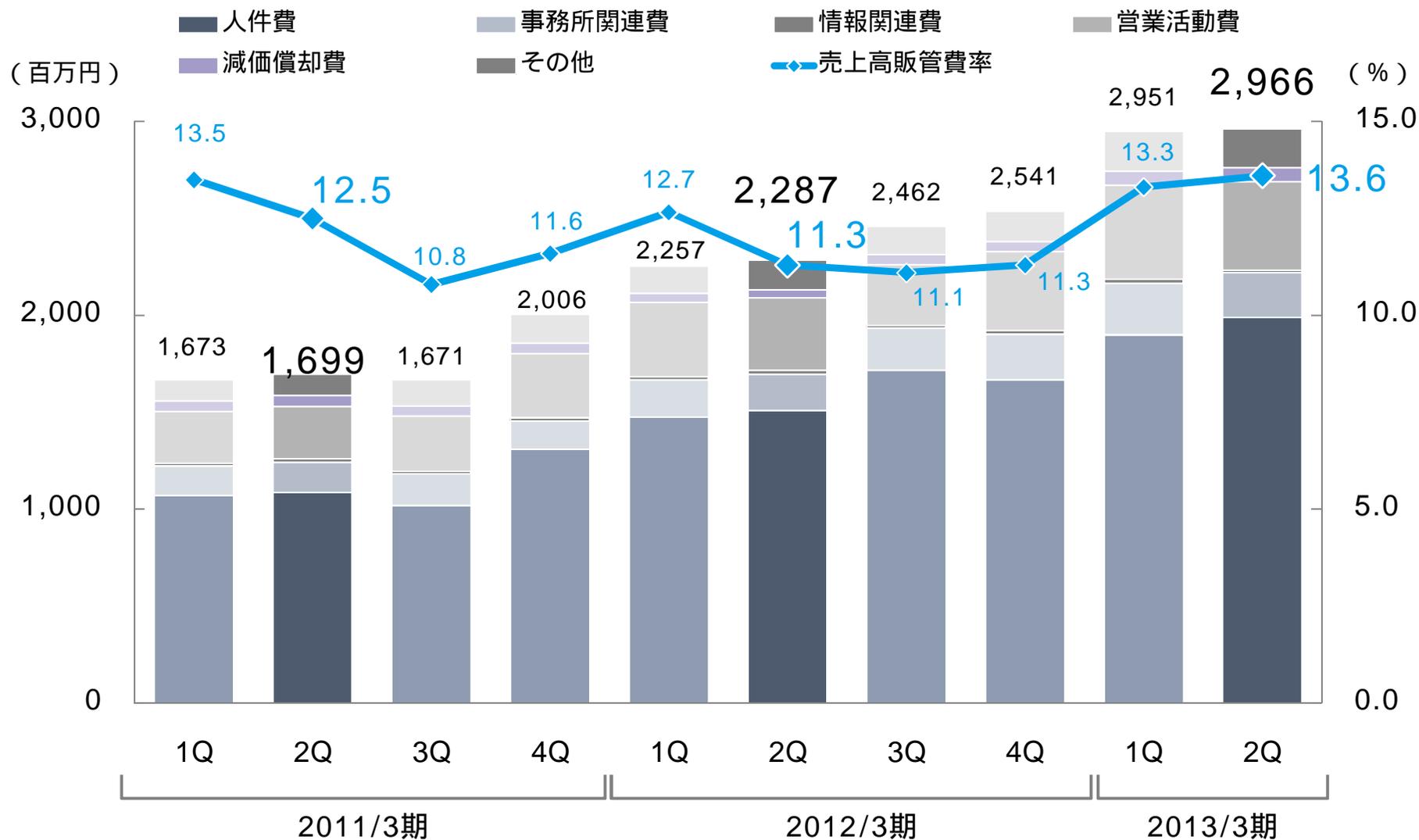
広告会社別売上高構成比の推移

(単位：%/百万円)



カッコ内は四半期ごとの広告会社別売上高の数値です。

四半期販管費の推移(連結)

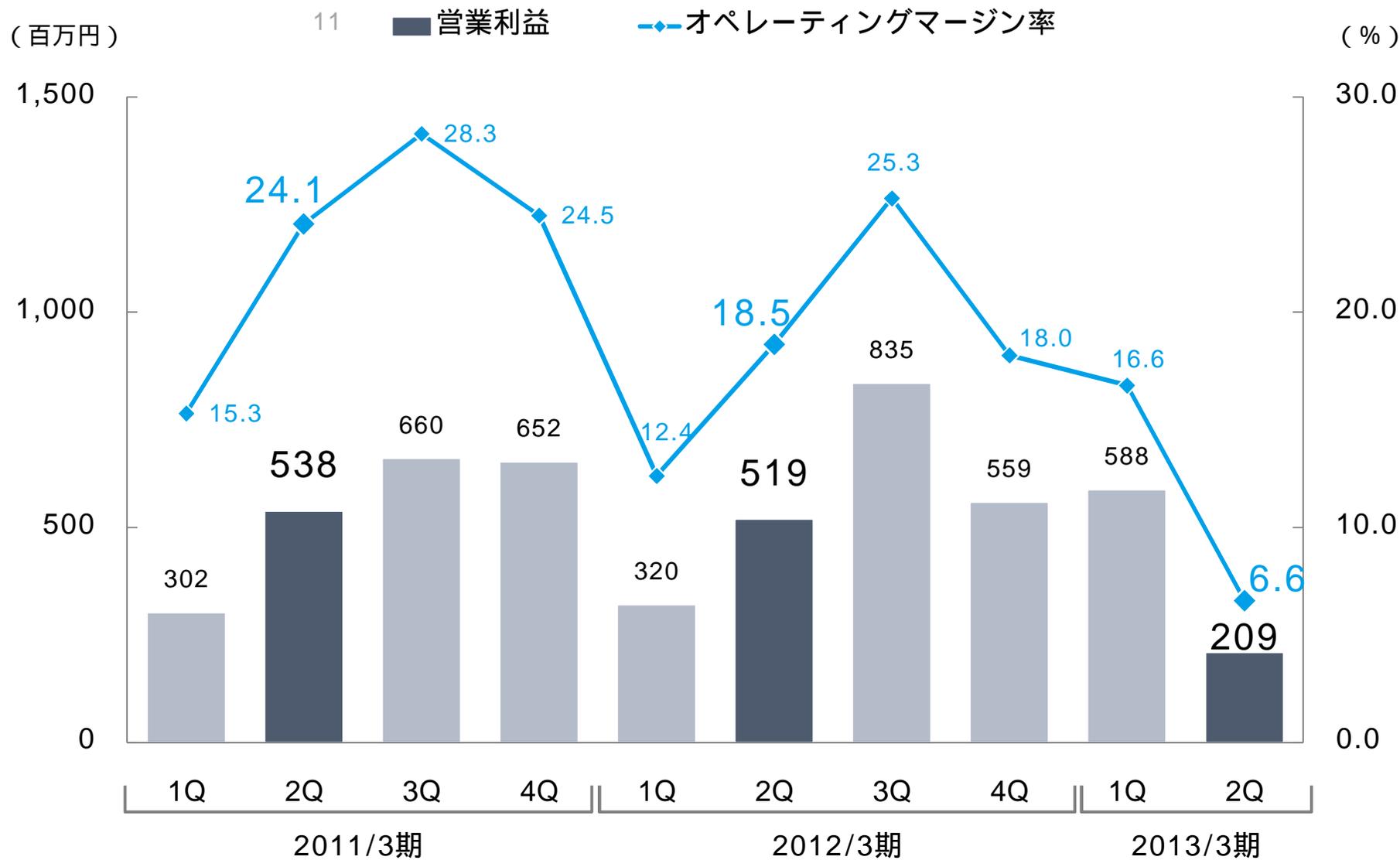


従業員数()
1,389名

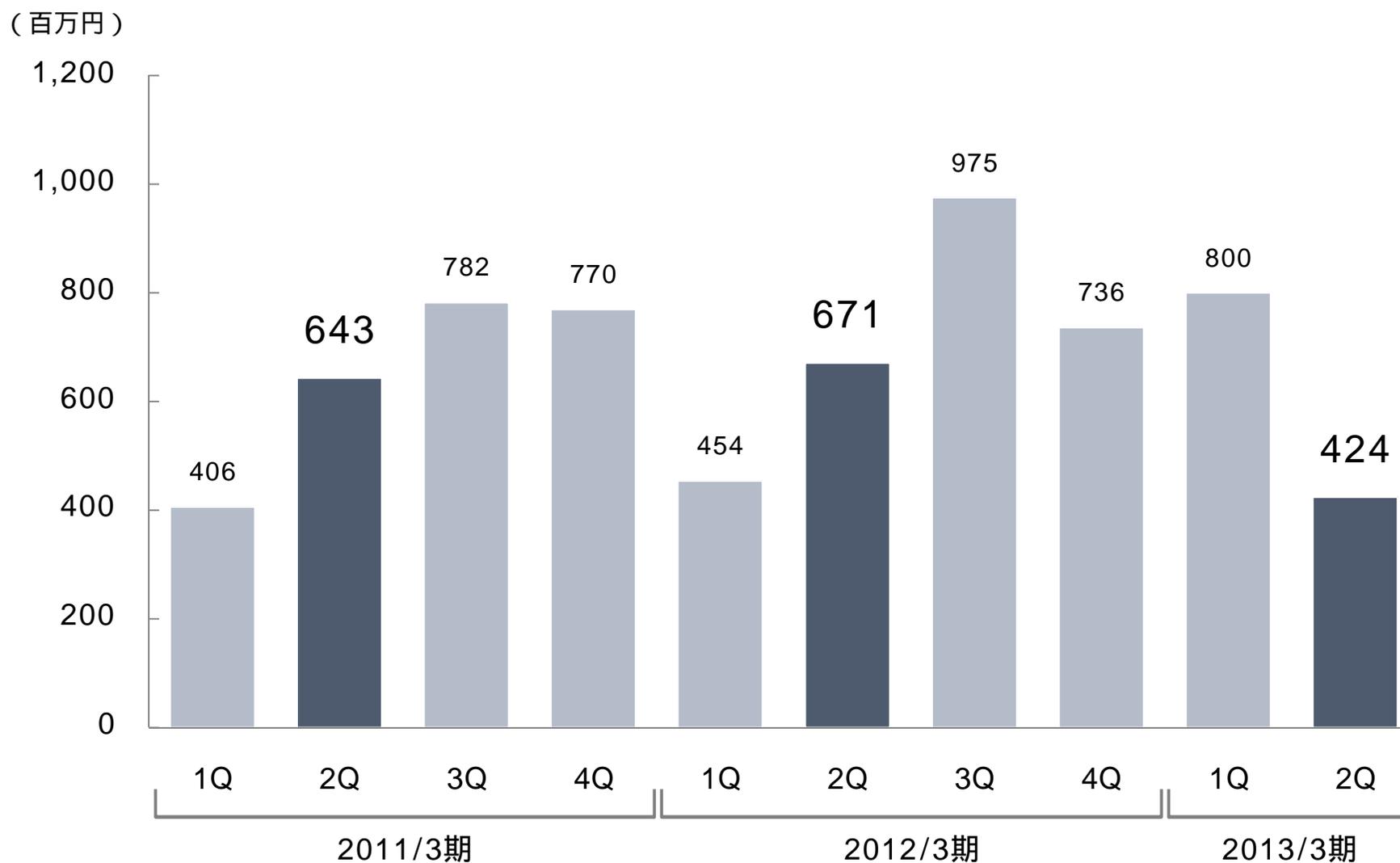
従業員数
1,612名

(当社ならびに子会社の取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数) 10

四半期営業利益の推移(連結)



四半期EBITDAの推移(連結)



() EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費

貸借対照表(連結)

	2012年3月期末 (2012/3時点)		2013年3月期2Q末 (2012/9時点)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年期末比 (%)
流動資産	25,385	80.5	22,209	77.0	87.5
固定資産	6,160	19.5	6,623	23.0	107.5
資産合計	31,545	100.0	28,833	100.0	91.4
流動負債	14,270	45.2	11,471	39.8	80.4
固定負債	821	2.6	1,150	4.0	140.1
負債合計	15,091	47.8	12,621	43.8	83.6
株主資本	10,517	33.3	10,493	36.4	99.8
少数株主持分	5,399	17.1	5,272	18.3	97.6
その他	536	1.7	445	1.5	83.1
純資産合計	16,453	52.2	16,211	56.2	98.5
負債・純資産合計	31,545	100.0	28,833	100.0	91.4

主な流動資産の減少要因

- ・現金及び預金の減少
- ・受取手形及び売掛金の減少

主な流動負債の減少の要因

- ・買掛金の減少

主な純資産合計の減少の要因

- ・少数株主持ち分の減少

キャッシュフロー計算書(連結)

	2013年3月期2Q (2012/4~9) (百万円)
営業活動によるキャッシュフロー	1,379
投資活動によるキャッシュフロー	1,960
財務活動によるキャッシュフロー	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	22
現金及び現金同等物の増減額	3,289
現金及び現金同等物の期首残高	9,573
現金及び現金同等物の期末残高	6,294

主な営業活動によるキャッシュフロー	
・税金等調整前当期純利益	866百万円
・仕入債務の減少	2,641百万円
主な投資活動によるキャッシュフロー	
・定期預金の預入による支出	1,900百万円
・定期預金の払い戻しによる収入	1,050百万円
・有形固定資産の取得による支出	517百万円
・関係会社株式の取得による支出	568百万円
・無形固定資産の取得による支出	294百万円
主な財務活動によるキャッシュフロー	
・長期借入れによる収入	531百万円

（百万円）

	2013年3月期3Q（予想） （2012/4～2012/12）
売上高	69,032 ～ 71,485
営業利益	888 ～ 1,130
経常利益	938 ～ 1,180
当期（四半期）純利益	307 ～ 438
1株当たり四半期純利益（円）	632.27 ～ 902.29

単体決算概要

	FY2012 (2013年3月期)			
	2Q (四半期)		2Q (累計)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	11,834	86.5%	24,206	94.7%
売上総利益	1,024	83.1%	2,203	92.9%
営業利益	69	24.9%	231	45.7%
当期(四半期) 純利益	33	21.3%	252	69.2%
OM率()	6.8%	-15.9pt	10.5%	-10.8pt

() オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

サービス別状況（単体）

売上高	2012年3月期2Q (2011/4~9)		2013年3月期2Q (2012/4~9)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	24,512	95.9	23,188	95.8	94.6
テクノロジーサービス	926	3.6	884	3.7	95.4
オペレーションサービス	126	0.5	133	0.5	105.0
合計	25,566	100.0	24,206	100.0	94.7

売上総利益	金額 (百万円)		金額 (百万円)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	1,797	75.8	1,690	76.7	94.0
テクノロジーサービス	487	20.6	416	18.9	85.4
オペレーションサービス	85	3.6	95	4.3	111.4
合計	2,371	9.3	2,203	9.1	92.9

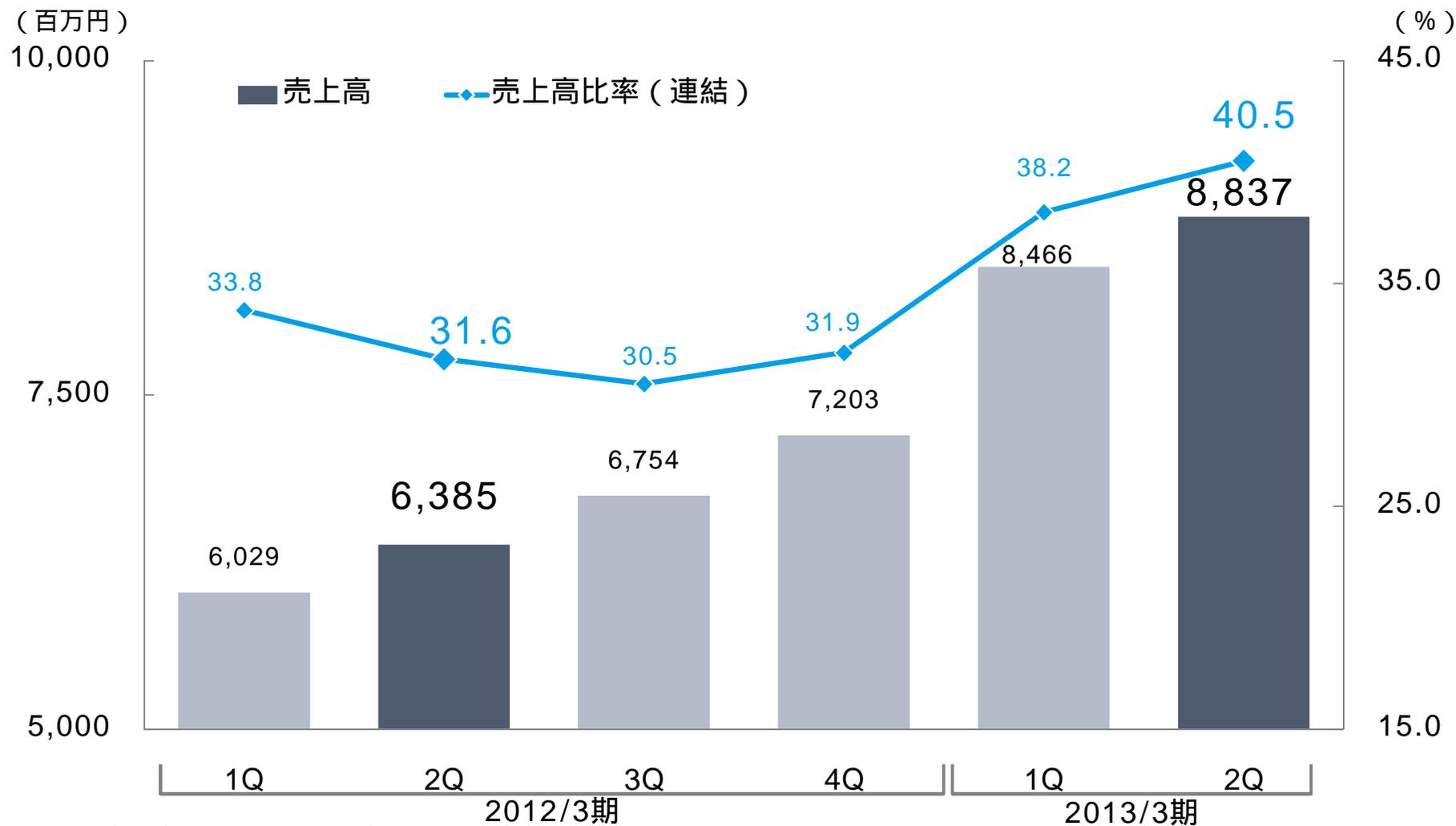
事業の動向

媒体メニュー別売上高・出稿件数・平均単価(単体)

	2012年3月期2Q (2011/4~9)			2013年3月期2Q (2012/4~9)		
	売上高 (百万円)	出稿件数 (件)	平均単価 (千円)	売上高 (百万円)	出稿件数 (件)	平均単価 (千円)
ディスプレイ	14,950	16,223	921	13,423	15,889	845
動画	1,051	765	1,374	1,001	1,342	746
サーチ広告	4,514	9,517	474	5,127	10,543	486
*サーチ(PC)				3,901		
*サーチ(スマートフォン)				1,226		
スマートデバイス				1,043	1,825	572
モバイル	2,410	3,582	672	610	1,534	398
ネットワーク	571	2,325	245	1,004	7,069	142
メール	394	946	417	367	961	383
その他	619	2,315	312	611	1,773	345
合計	24,512	35,673	687	23,188	40,936	566

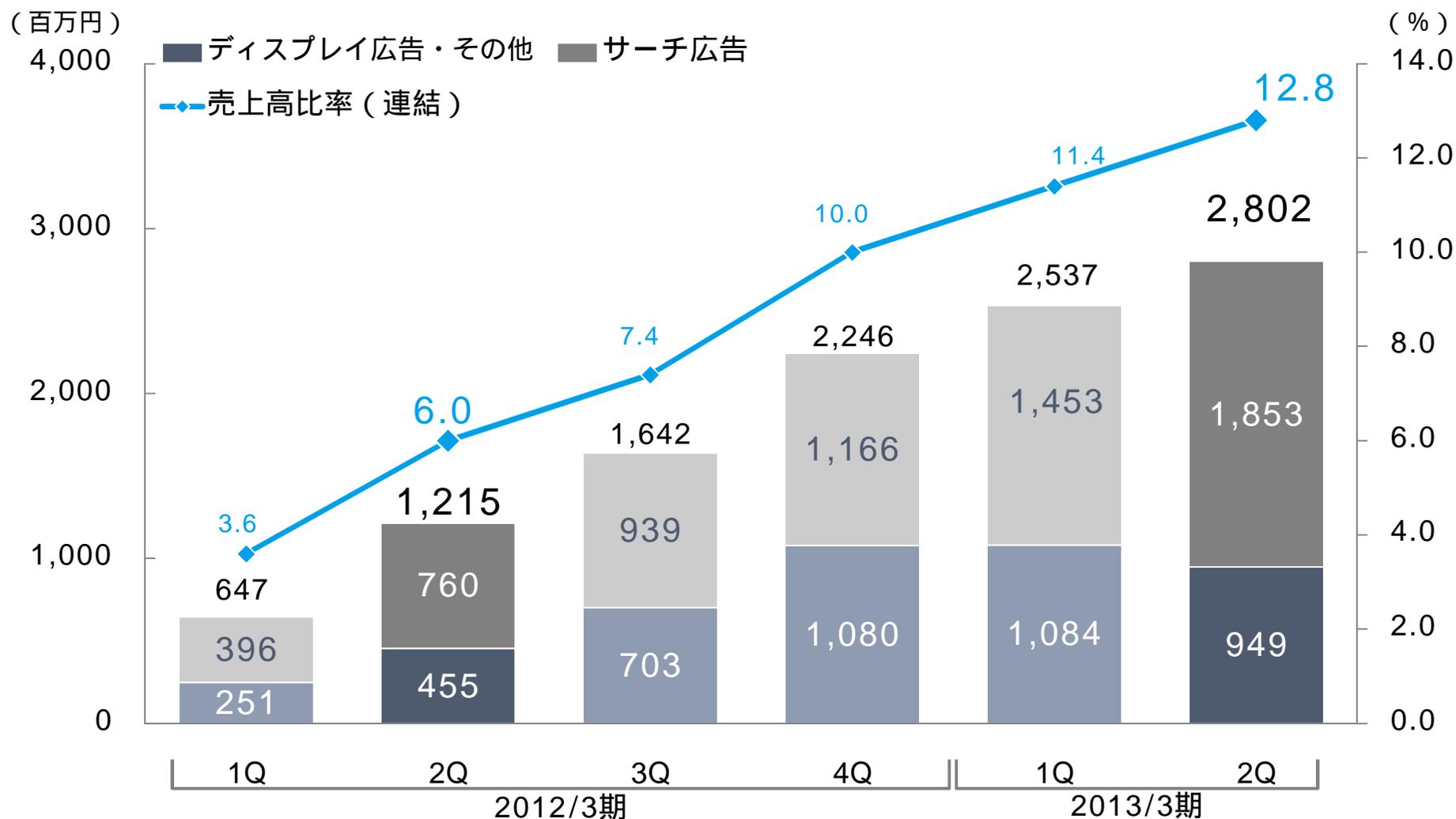
() 出稿件数、平均単価は社内管理上の集計数値となります。

業界トップクラスのアイレップの寄与により、売上高の約4割を占めるまでに急拡大



() 売上高には、SEOも含まれます。

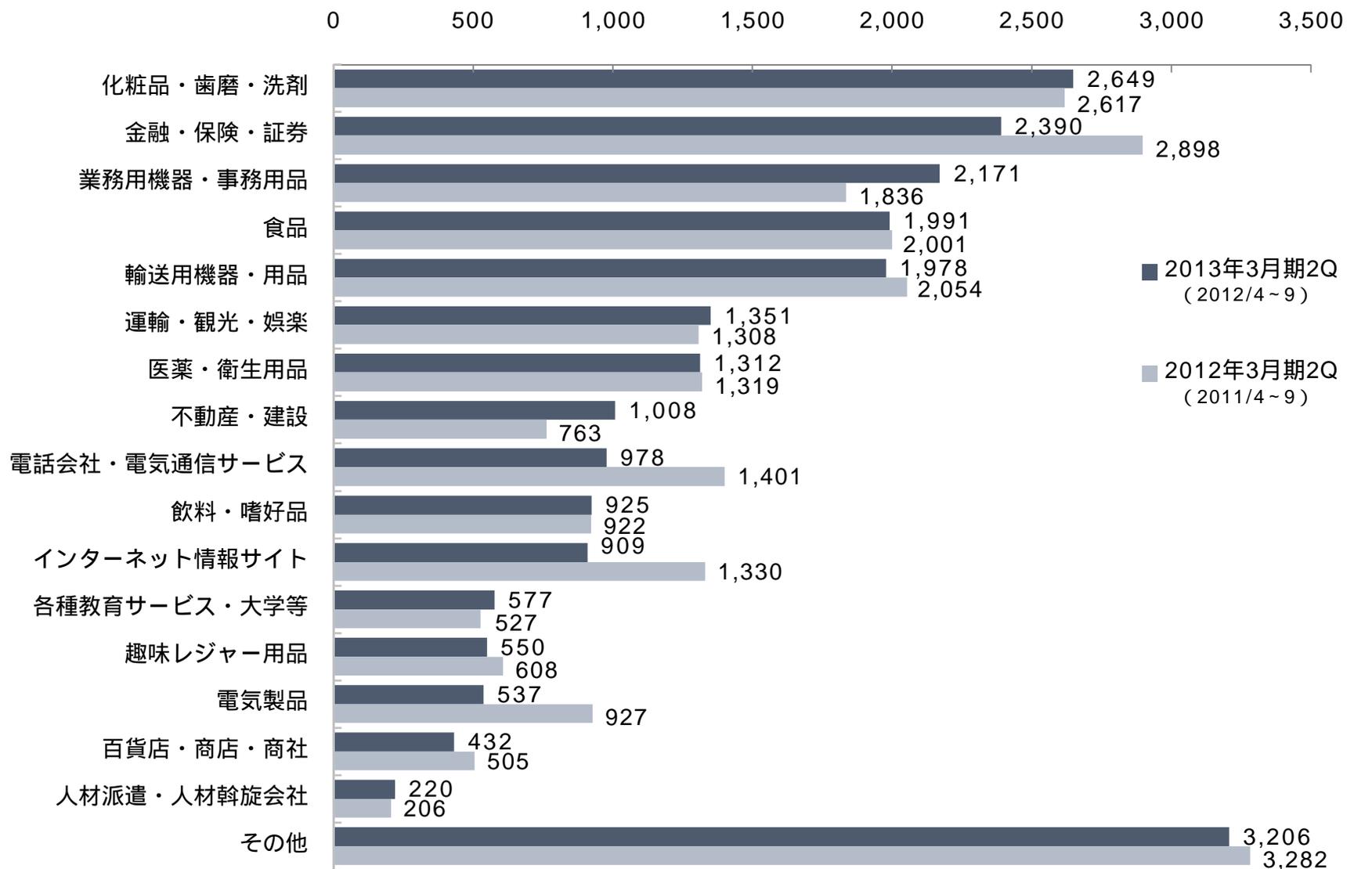
スマートデバイス広告市場でも順調にプレゼンスアップを実現



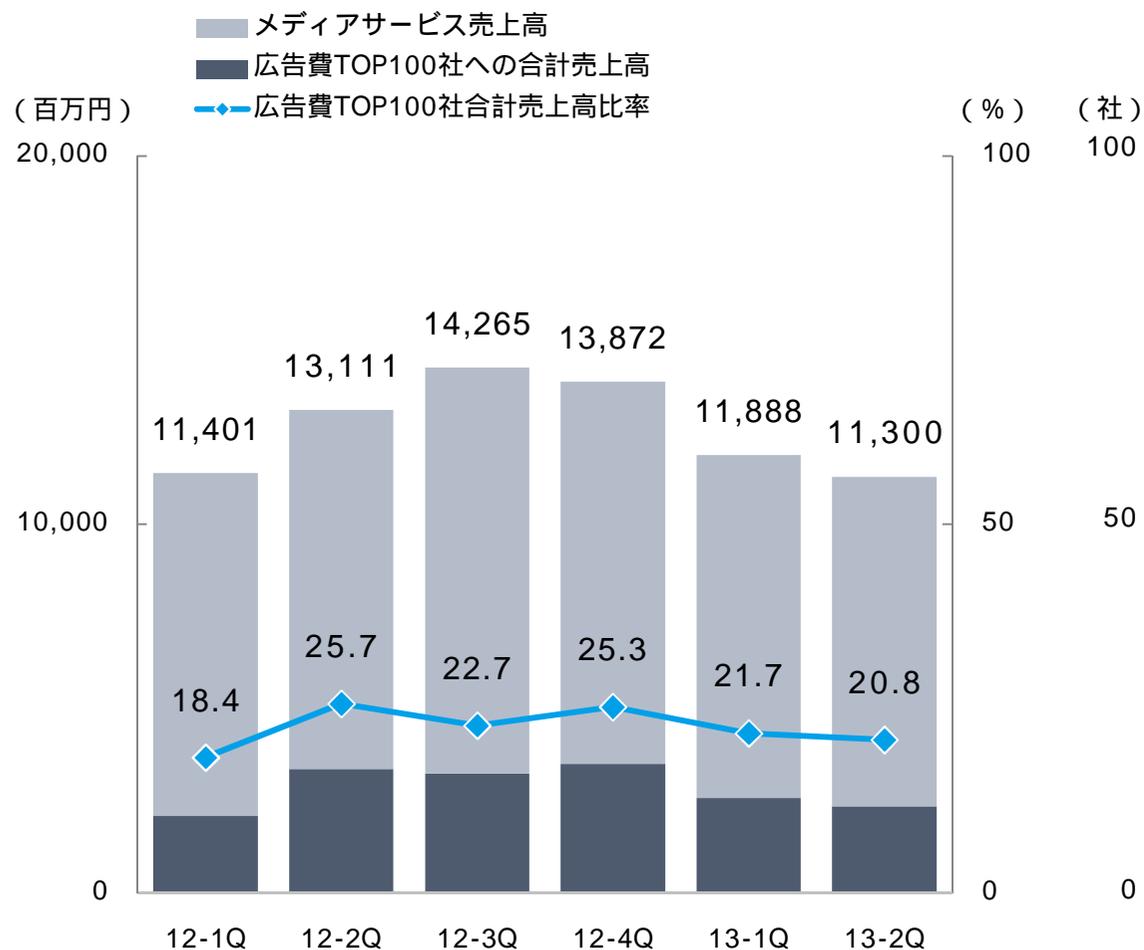
() その他には、主にアフィリエイト広告が含まれています。

業種別売上高(単体)

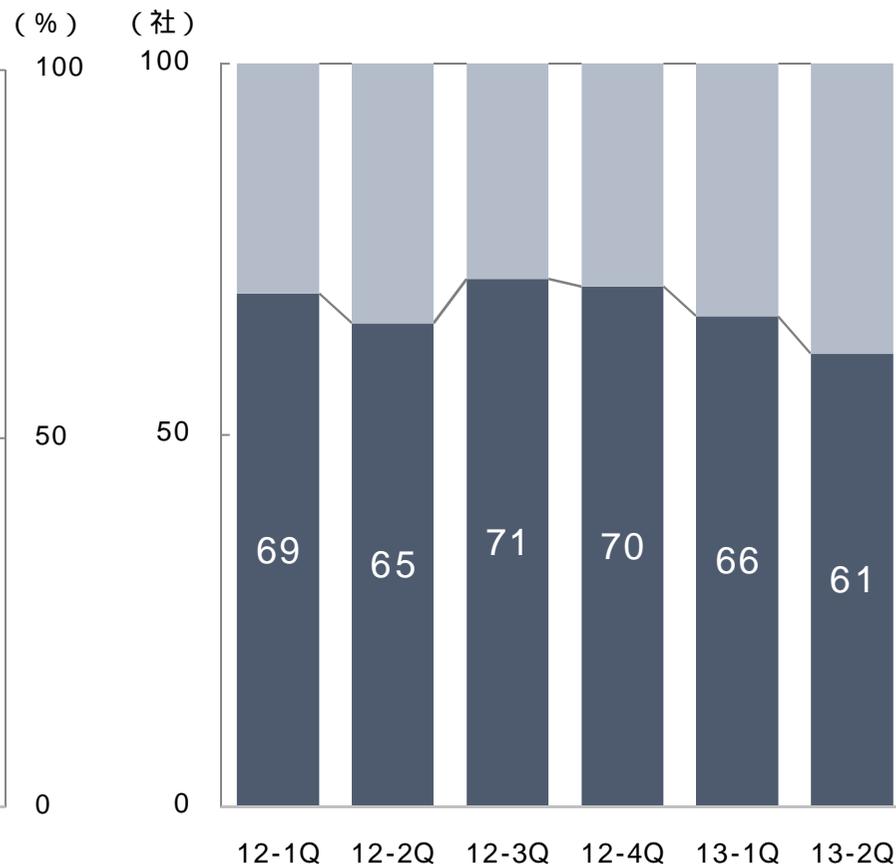
(百万円)



◆ 大型広告主に対する売上高の推移



◆ 大型広告主取扱社数の推移

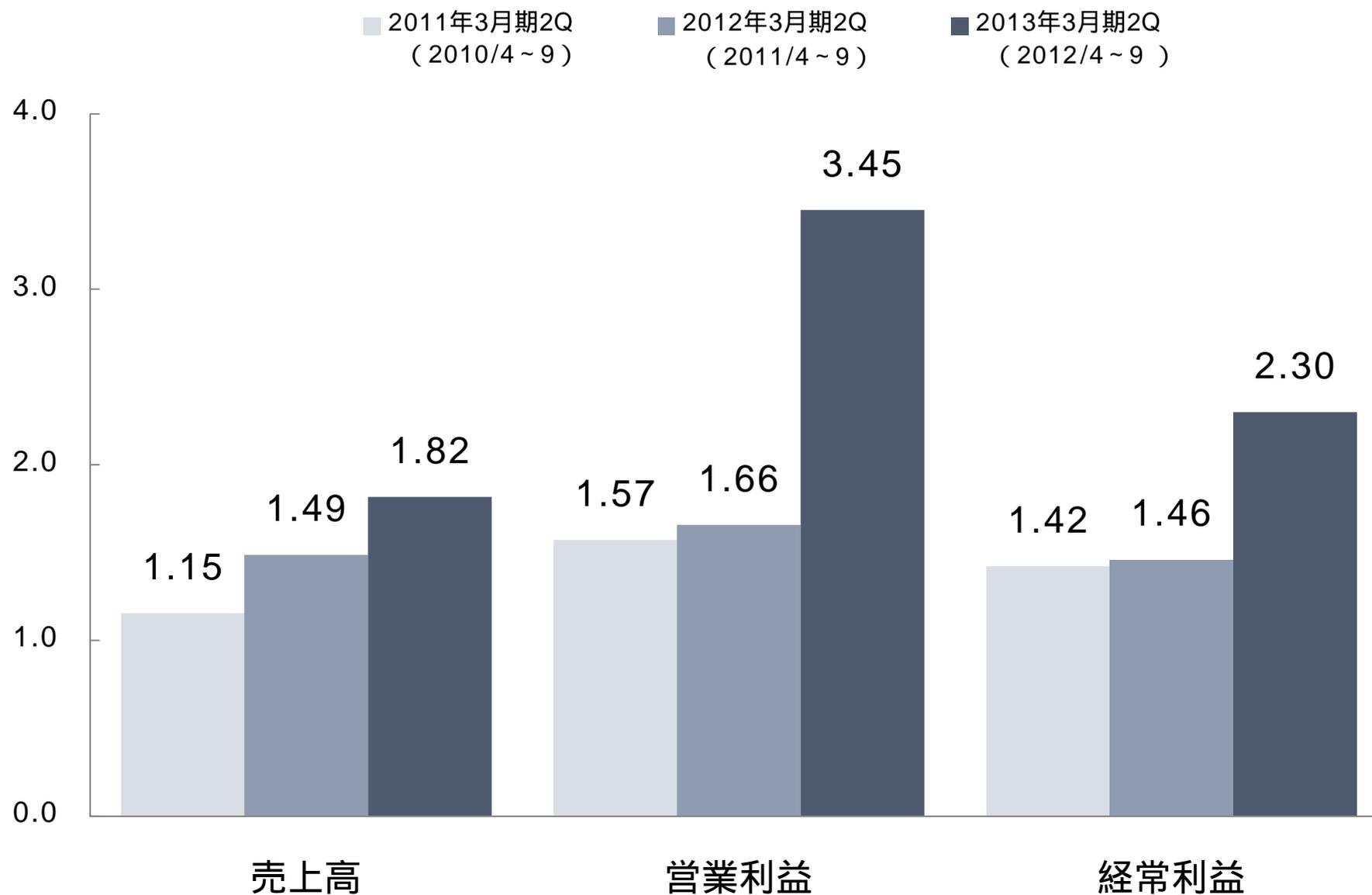


() 広告費TOP100社には、日経広告研究所「有力企業の広告宣伝費」の広告宣伝費上位100社を使用
 2011年1Q-4Qについては2010年度版のデータ、2012年1Q-4Qについては2011年度版のデータを使用

◆ 連結子会社の前年同期比較（累計）

	子会社	動向	
		売上高	営業利益
エージェント ソリューション	irep <small>a cycle of success, with us</small>	↗	→
	motionBEAT.	—	—
	P1 <small>PLATFORM ONE</small>	↗	↗
	I-MEDIA DRIVE inc <small>Maximize the Power of Media</small>	↘	↘
	ADPRQ	↗	→
	D.A.C Beijing	↗	↗
	DAC Asia	—	—
メディア ソリューション (DAS含む)	SPIRE	↘	↘
	HAKUHODO i-studio	↗	↗
	TORCHLIGHT	—	—

() 北京DAC、アイレップ、スパイアにつきましては、3か月先行した数字（今回は1Q迄の数字）を連結対象期間としております。

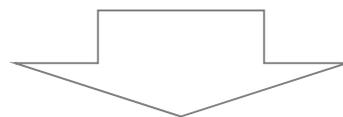


重点施策とトピックス

	目標	2013年3月期の重点施策分野
成長	早期シェア獲得 収益構造の確立	スマートデバイス、パフォーマンスディスプレイ、 ソーシャル、グローバル
拡大	シェアの維持・拡大 による利益確保	プレミアムディスプレイ、サーチ、テクノロジー、 クリエイティブ
改善	撤退も含む 大胆な スクラップ&ビルド	アドネットワーク、モバイル（フィーチャーフォン）、 アフィリエイト、自社メディア
新規	新たな 収益ビジネスの創出	（検討中）
経営	グループ経営管理機能の 再編と強化	SSC (シェアド・サービス・センター)設立、オフィス 環境のクラウド化

motionBEAT. + **SP!RE**

両社の「強み」を融合させ
スマートフォンマーケティング市場でNO.1へ



新社名「ユナイテッド」（2012年12月30日合併予定）

期待される「効果」





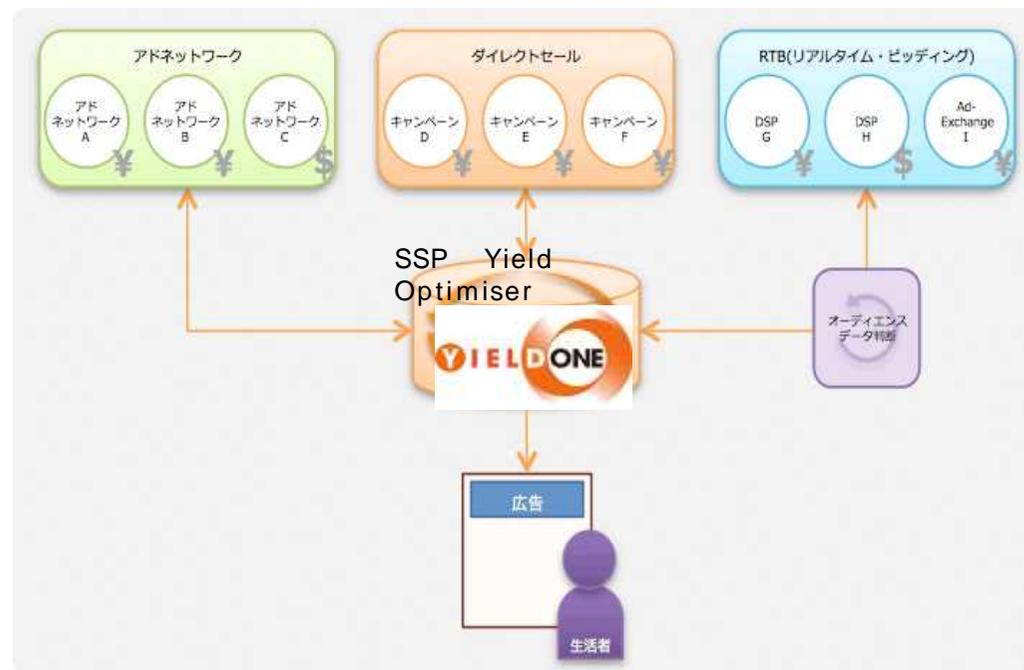
・媒体社の広告在庫販売を自動化、
収益を最大化するための国内初の本格的SSP
(サプライサイド・プラットフォーム)

特許取得日：2012年9月7日
対象：『YieldOne®』のベースとなる技術で、多くのアドネットワークを活用することにより収益を向上しつつ、運用負担を軽減できるイールド管理システム、方法及びプログラム

媒体社の純広告以外の在庫の収益を最大化させる仕組み

以下の機能をワンストップで
管理できる最先端サービス

- RTB (リアルタイムビidding)
- アドネットワークのリアルタイム最適化
- 掲載可否の一括管理システム
- 一元化された収益管理レポート
- スマートフォン対応





Facebook
Exchange

By TORCHLIGHT + TRIGGIT

Facebookが新たにリリースした広告枠取引プラットフォーム

ウェブ閲覧履歴を元にターゲットと判別されるユーザーがFacebookに訪れた際に、そのユーザーに表示する広告のリアルタイム入札を可能にする新サービス



Triggitt社と提携で、国内向けに「Facebook Exchange」を使ったリターゲティング広告の販売開始へ

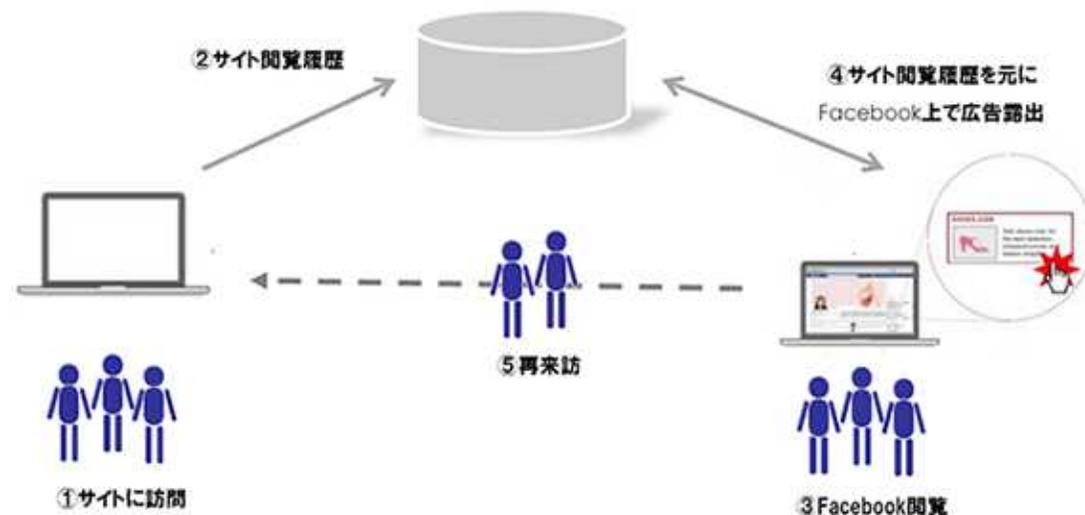


(本社：米国カリフォルニア州)

広告会社向けにオンライン広告取引を最適かつ自動的に行うデマンドサイドプラットフォーム（DSP）を提供。

世界の数あるDSPのうち、現在数社のみ限定された「Facebook Exchange」へ接続を認められている企業。

* リターゲティング広告の仕組み



米国サンフランシスコにアドテクノロジー調査研究拠点を開設（10月1日）

「lab+（ラボプラス）」



* デジタルマーケティング業界におけるクライアント企業への最先端アドテクノロジーやオンラインメディアサービスに関わる海外ビジネスパートナーとの開拓、提携を支援

* デジタルマーケティングに関する現地での情報収集やローカルパートナーとの関係構築を図り、最新情報とネットワークの獲得によりR&Dを強化

アド・プロ、中国に現地法人設立（10月1日 営業開始）



長春市恵海信息技术有限公司（中国長春市）

* 中国への委託業務の規模拡大にともない、日本企業の進出が活発で、日本語が堪能な人材を多く有する中国東北地方吉林省長春市に進出

* 広告オペレーションやシステム開発、WEB制作などを提供、約35名体制でスタート

Innity を持分法適用関連会社化（9月26日）（取得比率 25.1%）



* 東南アジア最大級のアドネットワークを運営（本社：マレーシア）する総合デジタルマーケティング企業

* 関係会社化で東南アジアのインターネット事業を早期事業拡大へ

本資料は、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社の事業及び業界動向についてのデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた 将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2012年11月8日現在において利用可能な情報に基づいて、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社により2012年11月8日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2011年3月期第2四半期の損益計算書ならびに貸借対照表は監査法人によるレビューを受けております。

2011年3月期の損益計算書、貸借対照表ならびに本資料に記載の四半期ごとおよび累計の数値は 過年度の決算数値および社内資料をもとに組み替えて作成しており、監査法人による監査・レビューを受けておりません。

なお、組み替え後の各四半期の会計期間は下記の通りです。

2011年3月期：2010年4月～2011年3月（第1四半期：2010年4月～6月 / 第2四半期：2010年7月～9月 / 第3四半期：2010年10月～12月 / 第4四半期：2011年1月～3月）

また、販管費内訳、サービス別売上高・売上総利益、媒体メニュー別出稿件数・平均単価、媒体メニュー別売上高・売上総利益、業種別売上高、ソリューション別売上高・売上総利益、大型広告主の動向、連結子会社の動向、連単倍率につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり、監査法人の監査・レビューを受けておりません。